



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年4月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エンプラス
 コード番号 6961 URL <https://www.enplas.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員 財務経理本部 本部長 (氏名) 藤田 慈也 TEL 03-6268-0259
 定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 2024年5月31日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月21日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 37,805 | △10.5 | 4,645 | △47.3 | 5,263 | △40.1 | 3,443 | △25.5 |
| 2023年3月期 | 42,240 | 28.4 | 8,820 | 145.0 | 8,785 | 154.5 | 4,621 | 82.8 |

(注) 包括利益 2024年3月期 5,896百万円 (△6.1%) 2023年3月期 6,277百万円 (60.3%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年3月期 | 390.14 | 383.00 | 7.0 | 9.2 | 12.3 |
| 2023年3月期 | 523.94 | 523.49 | 10.6 | 17.3 | 20.9 |

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 △346百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 60,028 | 52,667 | 86.3 | 5,869.59 |
| 2023年3月期 | 54,599 | 47,307 | 85.3 | 5,276.10 |

(参考) 自己資本 2024年3月期 51,819百万円 2023年3月期 46,548百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年3月期 | 8,231 | △4,089 | △965 | 24,696 |
| 2023年3月期 | 8,761 | △2,581 | △765 | 20,753 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年3月期 | ー | 30.00 | ー | 30.00 | 60.00 | 529 | 11.5 | 1.2 |
| 2024年3月期 | ー | 30.00 | ー | 30.00 | 60.00 | 529 | 15.4 | 1.1 |
| 2025年3月期(予想) | ー | 30.00 | ー | 30.00 | 60.00 | | 11.8 | |

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 19,500 | 1.6 | 2,700 | 3.2 | 2,800 | △9.6 | 1,900 | 5.6 | 215.21 |
| 通期 | 41,000 | 8.5 | 6,200 | 33.5 | 6,500 | 23.5 | 4,500 | 30.7 | 509.71 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 一社（社名）－

除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 2024年3月期 | 9,732,897株 | 2023年3月期 | 9,732,897株 |
|----------|------------|----------|------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 2024年3月期 | 904,376株 | 2023年3月期 | 910,432株 |
|----------|----------|----------|----------|

③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 2024年3月期 | 8,826,721株 | 2023年3月期 | 8,820,510株 |
|----------|------------|----------|------------|

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|------|--------|---|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 10,322 | 27.6 | △219 | － | 9,173 | 228.2 | 8,250 | 385.6 |
| 2023年3月期 | 8,089 | 18.8 | △1,594 | － | 2,794 | 43.7 | 1,699 | △57.9 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 934.73 | 917.62 |
| 2023年3月期 | 192.64 | 192.47 |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|----------|--|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 | |
| 2024年3月期 | 40,173 | 37,756 | 37,756 | 37,756 | 93.7 | 4,262.98 | 4,262.98 | |
| 2023年3月期 | 31,524 | 29,750 | 29,750 | 29,750 | 94.2 | 3,366.09 | 3,366.09 | |

(参考) 自己資本 2024年3月期 37,635百万円 2023年3月期 29,697百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4 「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年4月30日(火)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| 連結損益計算書 | 8 |
| 連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (セグメント情報) | 13 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、中国経済の停滞継続、地政学的な緊張の高まりなど、先行きの不透明な状況が続いております。

米国においては、良好な雇用・所得環境により個人消費は底堅く推移し、企業の景況感も持ち直しの兆しが見られます。

中国においては、春節需要による個人消費の回復やアセアン向けを中心とした輸出の増加により景気は一時的に持ち直しているものの、不動産不況や対中直接投資の大幅減少などによる景気減速が継続しております。

新興国・地域においては、世界景気の減速により輸出が低迷する一方、内需は底堅く推移しております。

わが国経済は、堅調な設備投資やインバウンド需要の回復継続により、景気は緩やかに回復しております。

このような状況の中、当社が関連する市場においては、世界経済の減速や半導体需要の調整の長期化による低迷など、依然として不透明な状況が継続しております。

当社は、顧客のニーズに対して当社グループの技術やソリューション提案力の強みを繋げることにより、課題の解決を通し社会に貢献するとともに、新規事業創出の機会としてまいります。

この結果、当連結会計年度の売上高は37,805百万円（前期比10.5%減）となり、営業利益は4,645百万円（前期比47.3%減）、経常利益は5,263百万円（前期比40.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,443百万円（前期比25.5%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

「Semiconductor事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、サーバー用途とモバイル用途の市場調整が継続し、売上高は低調に推移しました。当第4四半期連結会計期間においては、AI用サーバー向けソケットの出荷が好調に推移し売上高は増加しました。半導体需要の調整は当初想定より長引いているものの、特に当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は中期的には増加傾向を見込んでおり、引き続き将来の成長に備えた生産能力増強やテスト用ソケットに関する技術開発への投資を積極的に進めております。

この結果、当連結会計年度の売上高は16,677百万円（前期比28.8%減）、セグメント営業利益は1,743百万円（前期比73.2%減）となりました。

「Life Science事業」

遺伝子検査用製品は、顧客の生産調整が継続し、売上高は低調に推移しました。今後、新製品の量産立ち上げを予定しているものの、顧客の生産調整が長引く見通しであることから、抜本的なコスト構造の見直しによる収益改善を進め、2025年3月期中の黒字化を目指してまいります。なお、当該Life Science事業には、新規分野への先行投資や新事業開発が含まれております。

この結果、当連結会計年度の売上高は2,367百万円（前期比23.4%減）、セグメント営業損失は1,152百万円（前期は638百万円のセグメント営業損失）となりました。

「Digital Communication事業」

光通信関連の光学デバイスは、AI用途等のハイエンド領域において高いシェアを維持し、売上高は堅調に推移しました。当第4四半期連結会計期間においては、光トランシーバーサプライチェーンにおける部品不足の影響を受け、一時的に当社の光学デバイスの売上高は減少しました。AI用サーバー市場は今後も成長する見通しであり、主力製品のシェア維持や横展開による販売促進、次世代製品の開発・上市を進め、さらなる事業成長を目指してまいります。LED用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少が継続し、売上高は低調に推移しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は5,636百万円（前期比49.1%増）、セグメント営業利益は3,119百万円（前期比96.6%増）となりました。

「Energy Saving Solution事業」

自動車用部品は自動車の生産回復、自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡大により、売上高は堅調に推移しました。今後も電装化ニーズに伴う新アプリケーションの取込みにより北米や欧州地域でのシェア拡大、既存の日系顧客向けの販売を促進してまいります。

この結果、当連結会計年度の売上高は13,122百万円（前期比9.9%増）、セグメント営業利益は934百万円（前期比31.2%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は60,028百万円となり、前連結会計年度末比5,428百万円の増加となりました。

流動資産につきましては2,988百万円増加いたしました。主な変動要因は原材料及び貯蔵品で702百万円、受取手形及び売掛金で161百万円、未収消費税等で102百万円減少したものの、現金及び預金で4,022百万円増加したことによるものです。

固定資産につきましては2,440百万円増加いたしました。主な変動要因は有形固定資産で2,304百万円、投資その他の資産で140百万円増加したことによるものです。

負債は7,361百万円となり、前連結会計年度末比68百万円の増加となりました。

流動負債につきましては239百万円減少いたしました。主な変動要因は買掛金で148百万円増加したものの、未払法人税等で321百万円減少したことによるものです。

固定負債につきましては308百万円増加いたしました。主な変動要因はリース債務で319百万円増加したことによるものです。

純資産は52,667百万円となり、前連結会計年度末比5,360百万円の増加となりました。主な変動要因は利益剰余金で2,914百万円、為替換算調整勘定で2,139百万円増加したことによるものです。

その結果、当連結会計年度末の自己資本比率は86.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は24,696百万円となり、前連結会計年度末に比べて、3,942百万円増加しました。キャッシュ・フローの状況及びその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、税金等調整前当期純利益5,023百万円(前期は6,684百万円)、減価償却費2,385百万円(前期は2,243百万円)、法人税等の支払い2,140百万円(前期は1,285百万円)が発生した結果、営業活動による収入は8,231百万円(前期は8,761百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、有形固定資産の取得3,927百万円(前期は2,377百万円)、定期預金の預入による支出88百万円(前期は13百万円)を行った結果、投資活動による支出は4,089百万円(前期は2,581百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、配当金の支払い529百万円(前期は484百万円)、リース債務の返済324百万円(前期は229百万円)を行った結果、財務活動による支出は965百万円(前期は765百万円の支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2021年3月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期 | 2024年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 83.0 | 87.1 | 85.3 | 86.3 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 80.7 | 50.9 | 78.9 | 108.1 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%) | 56.7 | 20.5 | 15.4 | 21.0 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 149.5 | 115.3 | 264.9 | 258.8 |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式控除後)により算出しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

半導体市場においては、需要は緩やかに回復し、当社が注力するサーバー用途の需要を中心に中期的に増加傾向が続くと予想しております。ライフサイエンス市場においては、一部の顧客において生産調整の影響が残るものの、今後新製品の量産立ち上げを予定しており、遺伝子検査市場の拡大に伴い中長期的に増加傾向が続くと予想しております。光通信関連市場においては、AI用サーバー市場は今後も成長する見通しであり、当社の光学デバイスの需要は拡大すると予想しております。自動車市場は電装化の流れにより、電装化領域における需要は拡大すると予想しております。

そのような状況の中、当社は持続的な成長の実現のために、まず、成長市場であり人と地球のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を高める領域をEssential領域と定め、この領域への事業ポートフォリオの転換を進めてまいります。つぎに当社グループの独創的アイデアと総合技術により、最終顧客まで見据えた課題解決を実現し、多様化する顧客ニーズに対して新たな価値を提供してまいります。そして不連続な変化が続く時代において、持続的な成長を実現するために当社グループの重要な経営基盤である人材への投資を積極的に進めてまいります。

翌連結会計年度の連結業績見通しにつきましては、売上高41,000百万円（前期比8.5%増）、営業利益6,200百万円（前期比33.5%増）、経常利益6,500百万円（前期比23.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は4,500百万円（前期比30.7%増）を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 20,766 | 24,788 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,874 | 9,712 |
| 製品 | 1,201 | 1,119 |
| 仕掛品 | 724 | 694 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,753 | 2,050 |
| 未収消費税等 | 1,067 | 965 |
| 未収還付法人税等 | 79 | 201 |
| その他 | 995 | 903 |
| 貸倒引当金 | △24 | △9 |
| 流動資産合計 | 37,438 | 40,427 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,448 | 4,150 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,133 | 2,586 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,162 | 1,335 |
| 土地 | 6,838 | 6,875 |
| 使用権資産(純額) | 1,320 | 1,724 |
| 建設仮勘定 | 364 | 900 |
| 有形固定資産合計 | 15,268 | 17,573 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 142 | 150 |
| その他 | 77 | 63 |
| 無形固定資産合計 | 220 | 214 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 433 | 555 |
| 退職給付に係る資産 | 468 | 471 |
| 繰延税金資産 | 284 | 277 |
| その他 | 505 | 528 |
| 貸倒引当金 | △21 | △21 |
| 投資その他の資産合計 | 1,671 | 1,812 |
| 固定資産合計 | 17,161 | 19,601 |
| 資産合計 | 54,599 | 60,028 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,162 | 1,311 |
| リース債務 | 290 | 352 |
| 未払金 | 1,268 | 1,165 |
| 未払費用 | 635 | 622 |
| 未払法人税等 | 1,166 | 844 |
| 契約負債 | 151 | 156 |
| 賞与引当金 | 828 | 740 |
| 転貸損失引当金 | 25 | 29 |
| 役員賞与引当金 | 68 | 88 |
| その他 | 319 | 367 |
| 流動負債合計 | 5,918 | 5,679 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 1,054 | 1,373 |
| 退職給付に係る負債 | 83 | 90 |
| 繰延税金負債 | 27 | 35 |
| 転貸損失引当金 | 57 | 36 |
| その他 | 150 | 146 |
| 固定負債合計 | 1,373 | 1,681 |
| 負債合計 | 7,292 | 7,361 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,080 | 8,080 |
| 資本剰余金 | 1,998 | 2,013 |
| 利益剰余金 | 36,182 | 39,096 |
| 自己株式 | △3,276 | △3,257 |
| 株主資本合計 | 42,984 | 45,933 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 103 | 286 |
| 為替換算調整勘定 | 3,460 | 5,599 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,563 | 5,886 |
| 新株予約権 | 53 | 120 |
| 非支配株主持分 | 705 | 727 |
| 純資産合計 | 47,307 | 52,667 |
| 負債純資産合計 | 54,599 | 60,028 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 42,240 | 37,805 |
| 売上原価 | 21,793 | 20,799 |
| 売上総利益 | 20,447 | 17,006 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,627 | 12,360 |
| 営業利益 | 8,820 | 4,645 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 95 | 301 |
| 受取配当金 | 15 | 16 |
| 為替差益 | 171 | 312 |
| 固定資産賃貸料 | 9 | 6 |
| スクラップ売却益 | 47 | 63 |
| その他 | 60 | 64 |
| 営業外収益合計 | 400 | 764 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 66 | 76 |
| 固定資産賃貸費用 | 3 | 3 |
| 持分法による投資損失 | 346 | — |
| 支払補償費 | — | 45 |
| その他 | 18 | 21 |
| 営業外費用合計 | 435 | 146 |
| 経常利益 | 8,785 | 5,263 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 26 | 49 |
| 投資有価証券売却益 | 7 | 8 |
| 受取保険金 | — | 227 |
| その他 | 1 | 0 |
| 特別利益合計 | 34 | 285 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 5 | 13 |
| 減損損失 | 696 | 27 |
| 訴訟関連損失 | — | 74 |
| 災害損失 | — | 53 |
| 投資有価証券評価損 | 1,433 | 86 |
| 事業再構築費用 | — | 106 |
| 貸倒損失 | — | 164 |
| 特別損失合計 | 2,135 | 525 |
| 税金等調整前当期純利益 | 6,684 | 5,023 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,873 | 1,668 |
| 法人税等調整額 | △33 | △163 |
| 法人税等合計 | 1,839 | 1,504 |
| 当期純利益 | 4,844 | 3,519 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 223 | 76 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 4,621 | 3,443 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益 | 4,844 | 3,519 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 128 | 182 |
| 為替換算調整勘定 | 1,531 | 2,194 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △227 | — |
| その他の包括利益合計 | 1,432 | 2,376 |
| 包括利益 | 6,277 | 5,896 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 6,045 | 5,765 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 232 | 130 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|-------|-------|---------|---------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 8,080 | 2,008 | 44,636 | △15,897 | 38,828 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △485 | | △485 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 4,621 | | 4,621 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | △3 | | 23 | 20 |
| 自己株式の消却 | | △6 | △12,590 | 12,597 | — |
| 株主資本以外の項目の当期 変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △10 | △8,453 | 12,620 | 4,156 |
| 当期末残高 | 8,080 | 1,998 | 36,182 | △3,276 | 42,984 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|--------------|-----------------------|-------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | その他の包括 利益累計額 合計 | | | |
| 当期首残高 | △24 | 2,164 | 2,139 | — | 525 | 41,493 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △485 |
| 親会社株主に帰属する当期 純利益 | | | | | | 4,621 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △0 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | | | | 20 |
| 自己株式の消却 | | | | | | — |
| 株主資本以外の項目の当期 変動額(純額) | 128 | 1,295 | 1,424 | 53 | 180 | 1,657 |
| 当期変動額合計 | 128 | 1,295 | 1,424 | 53 | 180 | 5,813 |
| 当期末残高 | 103 | 3,460 | 3,563 | 53 | 705 | 47,307 |

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 8,080 | 1,998 | 36,182 | △3,276 | 42,984 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △529 | | △529 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 3,443 | | 3,443 |
| 自己株式の取得 | | | | △3 | △3 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | 15 | | 23 | 38 |
| 株主資本以外の項目の当期 変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 15 | 2,914 | 19 | 2,949 |
| 当期末残高 | 8,080 | 2,013 | 39,096 | △3,257 | 45,933 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 新株予約権 | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|--------------|-----------------------|-------|---------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | その他の包括 利益累計額 合計 | | | |
| 当期首残高 | 103 | 3,460 | 3,563 | 53 | 705 | 47,307 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △529 |
| 親会社株主に帰属する当期 純利益 | | | | | | 3,443 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △3 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | | | | 38 |
| 株主資本以外の項目の当期 変動額(純額) | 182 | 2,139 | 2,322 | 67 | 21 | 2,410 |
| 当期変動額合計 | 182 | 2,139 | 2,322 | 67 | 21 | 5,360 |
| 当期末残高 | 286 | 5,599 | 5,886 | 120 | 727 | 52,667 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 6,684 | 5,023 |
| 減価償却費 | 2,243 | 2,385 |
| 減損損失 | 696 | 27 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 234 | △115 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | 14 | 20 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 3 | △15 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △5 | △2 |
| 受取利息及び受取配当金 | △110 | △317 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 346 | — |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △21 | △36 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △7 | △8 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 1,433 | 86 |
| 受取保険金 | — | △227 |
| 訴訟関連損失 | — | 74 |
| 災害損失 | — | 53 |
| 事業再構築費用 | — | 106 |
| 貸倒損失 | — | 164 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 26 | 1,104 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △741 | 1,273 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △613 | △156 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | △157 | 153 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 116 | △289 |
| その他 | △156 | 782 |
| 小計 | 9,987 | 10,085 |
| 利息及び配当金の受取額 | 92 | 312 |
| 利息の支払額 | △33 | △31 |
| 法人税等の支払額 | △1,285 | △2,140 |
| 保険金の受取額 | — | 227 |
| 訴訟関連損失の支払額 | — | △74 |
| 災害損失の支払額 | — | △39 |
| 特別退職金の支払額 | — | △106 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,761 | 8,231 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △13 | △88 |
| 定期預金の払戻による収入 | 90 | 13 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,377 | △3,927 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 33 | 46 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △46 | △87 |
| 短期貸付けによる支出 | △119 | △41 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △269 | — |
| 投資有価証券の売却による収入 | 276 | 12 |
| その他 | △156 | △16 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,581 | △4,089 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | △229 | △324 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △3 |
| 配当金の支払額 | △484 | △529 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △51 | △109 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △765 | △965 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 513 | 766 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 5,927 | 3,942 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 14,825 | 20,753 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 20,753 | 24,696 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営戦略会議において経営資源の配分の決定のために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、市場や用途別のセグメントから構成されており、「Semiconductor事業」、「Life Science事業」、「Digital Communication事業」、「Energy Saving Solution事業」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する製品は以下のとおりであります。

| セグメント | 製品内容 |
|--------------------------|------------------------|
| Semiconductor事業 | 各種ICテスト用ソケット、バーンインソケット |
| Life Science事業 | ライフサイエンス関連製品 |
| Digital Communication事業 | 光通信デバイス、LED用拡散レンズ |
| Energy Saving Solution事業 | 自動車機器、OA、計器、住宅機器 |

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

| | Semiconductor事業 | Life Science事業 | Digital Communication事業 | Energy Saving Solution事業 | 合計 |
|-------------------|-----------------|----------------|-------------------------|--------------------------|--------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 23,432 | 3,090 | 3,780 | 11,937 | 42,240 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 23,432 | 3,090 | 3,780 | 11,937 | 42,240 |
| セグメント利益又は損失(△) | 6,513 | △638 | 1,587 | 1,358 | 8,820 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書上の営業利益と一致しております。

(注) 2. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載しておりません。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

| | Semiconductor事業 | Life Science事業 | Digital Communication事業 | Energy Saving Solution事業 | 合計 |
|-------------------|-----------------|----------------|-------------------------|--------------------------|--------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,677 | 2,367 | 5,636 | 13,122 | 37,805 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 16,677 | 2,367 | 5,636 | 13,122 | 37,805 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,743 | △1,152 | 3,119 | 934 | 4,645 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書上の営業利益と一致しております。

(注) 2. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象となっていないため記載しておりません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-------------------|--|--|
| 1株当たり純資産 | 5,276.10円 | 5,869.59円 |
| 1株当たり当期純利益 | 523.94円 | 390.14円 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 523.49円 | 383.00円 |

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 4,621 | 3,443 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 4,621 | 3,443 |
| 期中平均株式数(株) | 8,820,510 | 8,826,721 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | 7,547 | 164,576 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | — | — |

(重要な後発事象)

重要な設備投資

当社は、2024年4月30日開催の取締役会において、次のとおり固定資産の取得（新社屋建設）を決議致しました。

(1) 建設の目的

当社は、持続的な企業価値の向上を通じて企業理念を実現するために、お客様にお喜びいただける価値ある製品を創出し続けることが必要である、と考えております。そのため、現在事業毎に分散し老朽化も進んでいる研究開発施設を集約し、お客様の課題抽出から課題解決の価値提案までのスピードを加速するための中核拠点として、研究開発と実験環境の整備を進めてまいります。

また、今後さらに多様化する働き方にも対応し、高い生産性を実現する、安全安心を第一とした就業環境を整備してまいります。

(2) 建設の内容

| | |
|----------|--------------------------|
| 所在地 | 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目606-2 |
| 建物用途 | 研究所、事務所 |
| 面積 | 敷地面積8,348㎡、延床面積13,500㎡ |
| 建物構成（予定） | 1棟（地上5階、塔屋2階） |
| 投資額 | 約150億円（消費税別、自己資金を充当予定） |
| スケジュール | 2024年10月着工、2026年8月竣工（予定） |

(3) 今後の業績に与える影響

当該建設に伴う2025年3月期の連結業績見通しに与える影響は軽微であります。今後、重大な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。